

## ◎プロメライン軟膏【外】

【重要度】 【一般製剤名】プロメライン bromelain 【分類】壊死組織除去剤

【単位】◎20g/本 (1g中5万プロメライン単位)

【用法】1日1回塗布 [創傷面が清浄化すれば使用中止]

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【特徴】パイナップルの果汁または葉茎の搾汁より製したタンパク分解酵素。タンパク質の加水分解の他、抗炎症作用、血栓溶解作用などもある。親水性のマクロゴール基剤を使用しており洗浄が容易。

【主な副作用・毒性】出血、疼痛、創縁のエロジオン、傷周囲発赤、浮腫、紅斑、水疱、刺激感、搔痒感、皮膚炎など

【MW】約33000

【相互作用】SH型酵素といわれでシステイン、H<sub>2</sub>S、NaCNにより活性化され、Hg<sup>2+</sup>、Ag<sup>+</sup>により不活性化される (1)

【備考】壊死組織がかなり残存しているがプロメラインのみを直接塗布すると疼痛や出血がみられる場合、壊死組織層が薄くかつ少量で周辺の肉芽が不良肉芽様で出血のおそれがある場合にはプロメライン：白色ワセリン＝1：1～3の割合で混合して使用するとよい。軽症例、新生肉芽組織には使用しない。

【更新日】20121016

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。